

## 第2回野洲市新病院整備可能性検討委員会結果報告について

### 1. 開催日時等

平成24年4月10日(火) 午後2時～4時

於：野洲市役所3階第1委員会室

### 2. 委員等

<出席委員>

柏木 厚典 委員長(滋賀医科大学病院長) 福山 秀直 委員(京都大学医学研究科教授)

川島 英樹 委員(社団法人病院管理研究協会調査企画部長)

渡邊 信介 委員(特定医療法人社団御上会野洲病院病院長)

堀出 直樹 委員(守山野洲医師会会長) 角野 文彦 委員(滋賀県健康福祉部次長)

今堀 初美 委員(野洲市健康福祉センター所長)

<傍聴者>

23名

### 3. 議事等

#### 1) 野洲地域における医療課題と今後の展望について

##### ○検討課題と結果

必要な病院の役割・機能について、回復期医療と在宅医療の後方支援機能を重視した病院像をイメージしながら、以下の課題について検討が進められた。

##### ① 5疾病4事業への対応について

\*重点的な機能や中心的な機能に問題はないか

5疾病…悪性新生物、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、精神疾患

4事業…救急医療、周産期医療、小児医療、災害医療

⇒ 5疾病4事業への対応について、中心的な機能として位置づける分野と機能分化の観点により他の医療機関に委ねる分野などを整理。

##### ② 診療科について

\*内科や小児科など、9診療科で問題はないか

9診療科…内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、リハビリテーション科、泌尿器科、人工透析

⇒ 9診療科の他に、市内診療所における受療動向などを考慮すると、現在耳鼻咽喉科の外来対応が不足していることを確認。

##### ③ 病床数について

⇒ 199床を基本に、次回に検討する病院整備費用や事業収支を考慮して判断。

##### ④ 医療サービスの充実が期待されている分野について

⇒ 在宅医療を推進するための診療所の後方支援的役割が必要である。また、合わせて病児保育等へ対応することが望ましい。

##### ⑤ 病院として積極的に取り組むべき分野について

- ・ 5疾病4事業以外に、二次保健医療圏内で比較的不足していると見られる「泌尿器科」や「整形外科」の診療強化を目指す。
- ・ 多くの市民が利用しやすく、医療スタッフの確保に有利とされる駅周辺に病院を整備。
- ・ 育児世代スタッフ等の有効活用につながる勤務体系(ワークシェアリングなど)を工夫。
- ・ 運営をサポートする市民ボランティアの導入や医師会との連携を推進。

## ⑥ 病院の立地場所の課題整理等

⇒ 野洲駅周辺とする方が多くの市民が利用しやすく、医療スタッフの確保にも有利である。

### \*参考:市の提案概要

郊外に立地した場合、野洲駅周辺と比較すると地価は安いものの、周辺道路整備などの新たなインフラ整備費用が必要であることや、自家用車での通院が基本となれば、市民は市外の周辺病院を選択することが可能であり、市内に病院を整備する必要性は低くなります。

一方、野洲駅周辺に立地した場合、既存の公共交通機関が利用できるため多くの市民が利用しやすく、またJRを利用する市外の患者も期待でき経営の安定化が図れます。さらに、駅周辺施設の利用者と合わせ、まちのにぎわいに資することができます。

## 2) その他

### ○次回の検討委員会

- ・開催日時等 平成24年5月15日（火） 午後2時30分～ 市役所3階第1委員会室